

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サイボーグ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サイボーグ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：リージョン・ソリッド

フレアーの幅 インチ

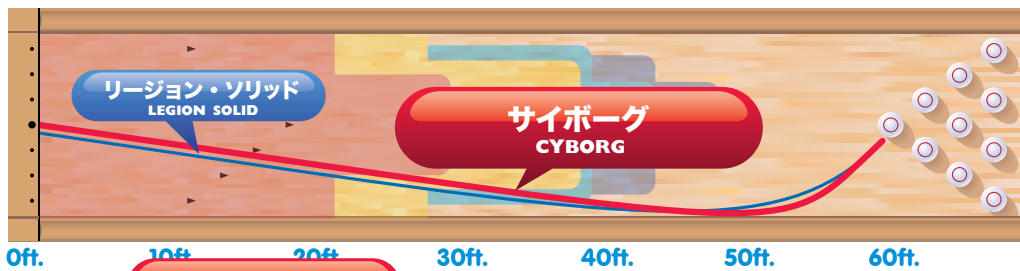
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

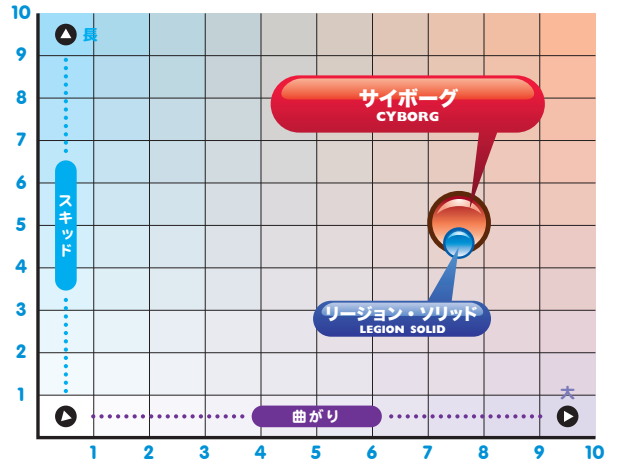
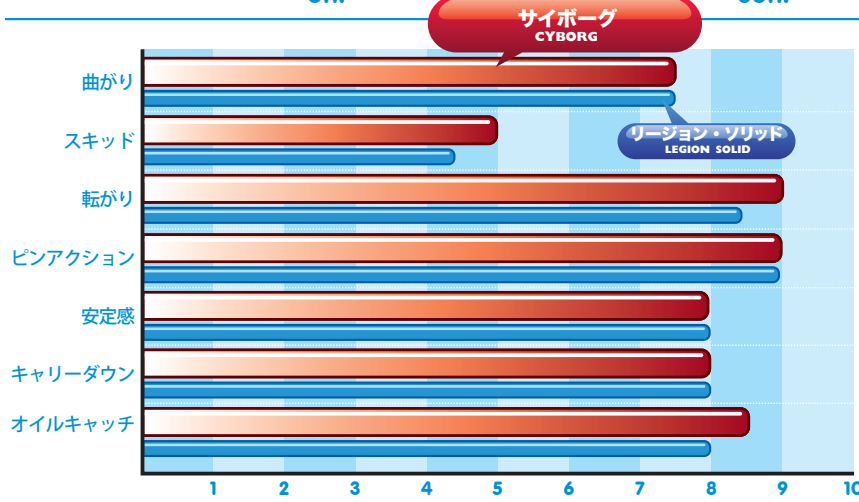
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Paradox Pearl, HEAT, Paradox Red Pearlと最近TRACK社から発売されるボールは、Backendで特徴的な動きを魅せる性能が多く見受けられます。それはEBI (EBONITE INTERNATIONAL)の中でTRACK社は特にBackendの動きに重点をおいて制作作成されているという事でしょう。TRACK社の強みはMid Laneでしっかりキャッチをさせプレーキをかけさせてもピンヒットまで曲りが緩まず、かなり明確にBackendで動きが見えます。今回のCYBORGもポリッシュ状態でのキャッチとBackendの動きが明確に表現できています。

先月12日から17日まで行われたID BOWLING TOURでID参加者及び試投会参加者でCYBORGのPerformanceを多くの方々にテストングして頂きました。試投された多くの方の第一印象は”走りがあり先でシャープに動く”と感じられたようです。当初私達に届けられたCYBORGは米国で発売されるBox Finishの3000アブラロン加工でした。しかし様々な角度から検証を行い、ABSは日本での発売スペックはポリッシュ加工に拘りました。ただポリッシュするだけでなく、オイルに強くドライゾーンの反応を高めるためCoverstockそのものをバージョンアップさせる必要がありました。そのためQR-7 HybridをベースにChemical tuneupを行い、日本限定”QR-7 Hybrid Pro”を作成。新開発のCYBORG Coreとマッチングさせることで走りとおのネジレにフォーカスし作成致しました。一番の拘りは日本限定のQR-7 Hybrid Proでしょう。いくつかのsampleとして送られてきたCoverstockの中からポリッシュ状態で最もBackendで切れるイメージで動かすか。試投会でもそうだったようにCYBORGを投げれば、いままでの認識を変えざるを得ないでしょう。

特記事項

TRACK社の最新作はポリッシュ用にChemical tuneupされた走りとおの動きを求めた日本限定の性能での発売です。